

患者さんの持てる力を大切に

看護職員 募集案内



独立行政法人
国立病院機構

福島病院

National Hospital Organization Fukushima National Hospital

・看護部の理念



生命の尊厳を守り、
人にやさしい病院となるように
質の高い看護を提供します

・看護部の③つの方針

根拠に基づき、その人らしく過ごすことを
大事にした看護を実践します

地域の医療や福祉も含めたチーム協働で、
満足していただく医療を目指します

専門職として自己研鑽し、
共に育つ努力をします

患者さんの持てる力を大切に

福島病院は「納得」の医療で地域や社会に貢献という病院理念のもと、重症心身障がい児（者）と脳神経内科患者を中心とした医療を提供しています。

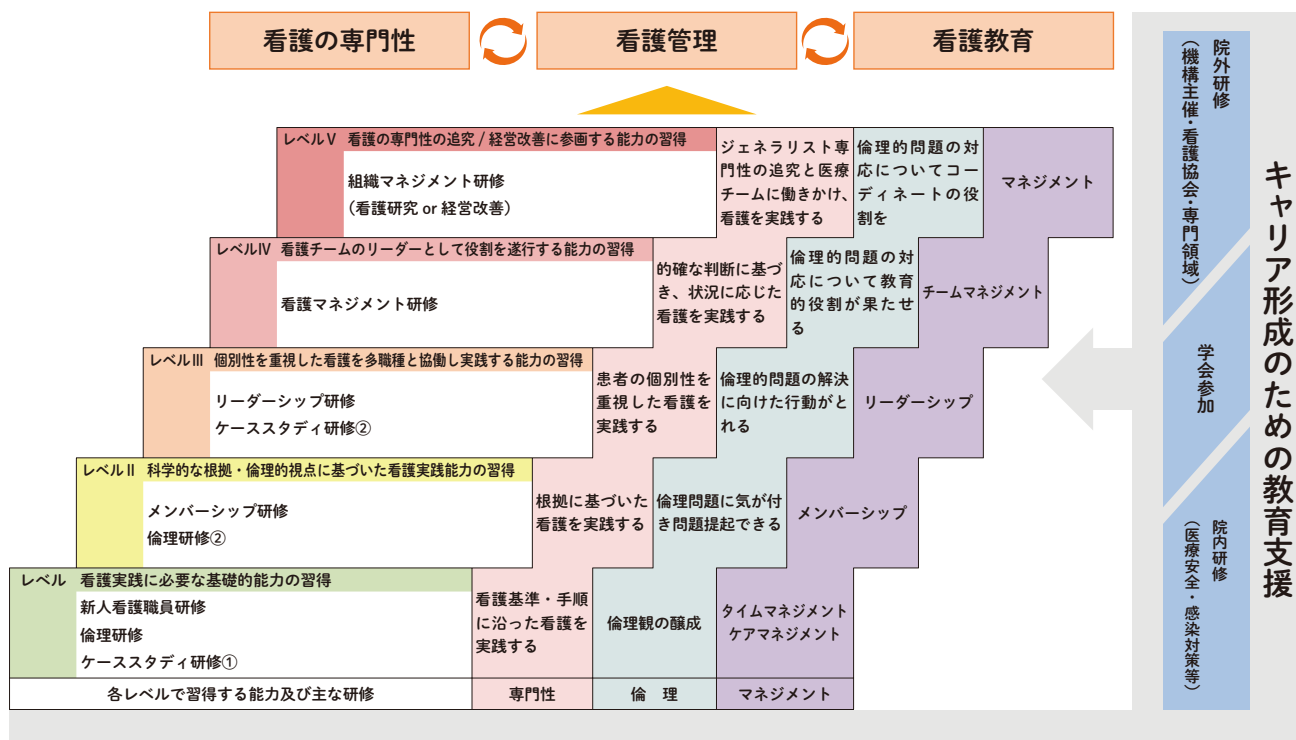
ポスト NICU・ポスト PICU の役割を担い、医療的ケア児の入院や短期入所、レスパイト入院など在宅医療看護の支援にも力を入れています。

看護部では看護職員一人ひとりが患者さんに関心をよせ、専門職として倫理観を高めながら、やさしさと思いやりの心をもって看護を提供できるよう努めております。

看護職員が互いを尊重し協力しあい、いきいきと働き続けられるように、職員間の対話を大切にしながらヘルシーワークプレイスを目指して取り組んでいます。

福島病院のキャリアパス

病院の理念、看護部の理念に基づいて、確かな実践力と高い倫理観のもと、質の高い看護を実践できる看護師を育てるために、キャリア形成を支援する体制を整えています。看護師個々の学習ニーズや目標、ワークライフバランスを保ちながら、専門職業人として主体性に一段一段ステップアップできるように支援します。

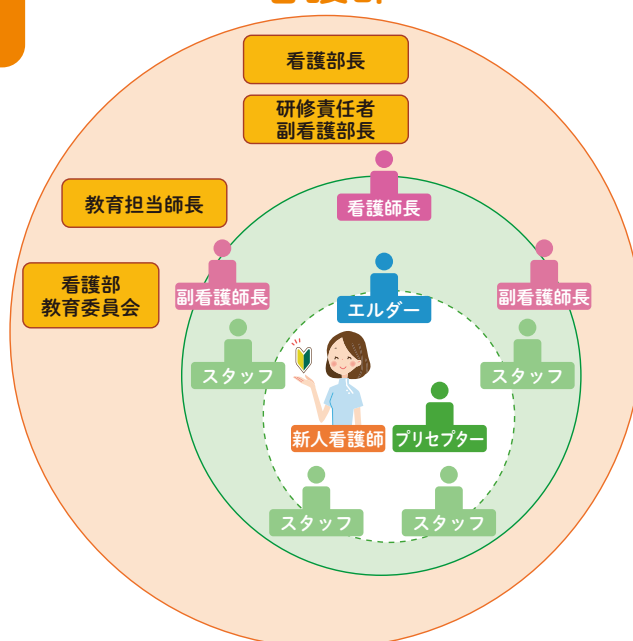


新人看護部教育体制

新人が順調に職場に適応し、看護師として自信を持って成長と発達を続け、医療チームの一員として能力を最大限発揮できるように、プリセプター、エルダーを中心に、全スタッフ、看護師長や副看護師長、教育担当師長が互いに連携し、看護部全体でしっかりサポートします。



看護部



新人看護師の年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
		リフレッシュ研修	倫理研修		
		● 静脈内留置針研修			
新採用者研修	看護技術研修				
職場に慣れる	安全・安楽・確実な 基礎看護技術を身に付ける		メンバーとしての		
	フォローアップ 面談①	3か月評価			

新人看護師の目標到達度を把握しながら、

先輩の声

家族に接するような優しい雰囲気を大切に

福島病院に入職して6ヶ月が経過しました。現在、重症心身障がい児（者）の3病棟で働いています。福島病院は患者さんに、看護師はもちろん多職種で、家族に接するような優しい雰囲気で関わっています。日々の援助の中で、患者さんの個性に合った看護とは何かを学んでいます。患者さんに安全・安楽な生活を提供するだけでなく、発育・発達を促す療育もケアに含まれていることが魅力だと考えています。患者さんの変化を感じ取り、細やかなケアができるように先輩方のご指導のもと、日々学習し頑張っています。

第3病棟 看護師
国立病院機構
山形病院附属看護学校出身



●他の先輩の声は
こちらから
(看護部のサイトへ)



学習が促進するよう、病棟全体で支援します。

待遇

休日・休暇

- 4週8休制度、祝日代休制度あり（年末年始含む）
- 年次有給休暇（年間最大20日（繰越最大20日）、リフレッシュ休暇（3日間）、結婚休暇、産前産後休暇、病気休暇、忌引き休暇、子の看護休暇など）

加入保険等

厚生労働省第二共済組合に加入
共済年金

勤務時間 ・ 休暇実績

1日の勤務時間：7時間45分
シフト制（3交替制）

福利厚生

宿舎は病院敷地内にアパートタイプの乙女が丘ハイツがあります。
間取りは1Kと1LDKの2タイプ、デジタルロックキー、エアコン、駐車場完備。



病棟紹介

病棟運営状況

病棟名	診療内容	病床数
外 来	主に脳神経内科、内科、整形外科、小児科の外来	
第1病棟	一般病棟	50
第3病棟	重症心身障がい	60
第5病棟	重症心身障がい	60
第6病棟	重症心身障がい	50

外 来（主に脳神経内科、内科、整形外科、小児科）



主に脳神経内科、内科、整形外科、小児科などの診療部門に携わっています。

専門的な知識・技術をもった看護師が、医師や他職種と連携し相談・指導・ケアを行っており、様々な発達段階にあるお子さんや在宅で療養されている患者さんご家族に寄り添って、その人らしく生活できるよう支援しております。

一般病棟

第1病棟（50床）



脳神経内科・内科の方が入院されている病棟です。脳神経内科は、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症などの疾患の方、内科は緩和ケアを要する疾患の方や内視鏡検査を受けられる方が入院されています。

長期療養の方には、入院中でも四季を感じられるような取り組みのほか、より快適に入院生活をお過ごしいただけるよう努めています。また、自宅と病院を行き来しながら日常生活を送っている方もいらっしゃいます。

地域の関係者の方々と協働し、社会資源を活用しながら自分らしい生活が送れるような看護を目指しています。

重心病棟

第3病棟（60床）



重症心身障がい児（者）の病棟です。患者さんの年齢は、4歳から60歳代の幅広い年代の方が入院されています。当病棟は、摂食できる患者さんが9割を占めています。患者さんの状態を見極めながら、医師や理学療法士、言語聴覚士、栄養士、保育士など多職種とポジショニングや摂食の評価を定期的に行っています。患者さんに食事の楽しさを味わって頂くように「安全に楽しく、美味しく食べることができること」を大切にして、一人ひとりにゆっくり時間をかけて食事できるように支援しています。

また、活動性の高い患者さんも多く、リハビリや療育活動を中心に患者さんの持てる力やADLが維持できるように生活環境を整えています。

第5病棟（60床）



重症心身障がい児（者）病棟です。9歳から70歳と幅広い年代の方が入院されており、療養、教育の場を40名以上のスタッフがアットホームな環境を整え、患者さん目線で日々の生活を支援できるよう努力しています。また、患者さんの持てる力を引き出すと共に笑顔も引き出せるよう、多職種連携して患者さんを多角的にとらえるカンファレンスを実施しています。患者さんの尊厳を守るために、人として看護師として、倫理面の検討を重ね、患者ファーストをモットーにしています。

第6病棟（50床）



重症心身障がい児（者）病棟の中で、特に医療的ケアの高い患者さんが多く入院されています。入院患者の平均年齢は20歳で、未就学児が患者の全体の20%を占めており、成長発達過程にある小児患者が多いのが特徴です。また在宅で生活されている方のニーズに合わせ、レスパイト入院を受け入れており、家庭や地域生活の充実を促すための支援も行っております。

保育・余暇活動を通じ季節の催し物や、音楽療法など年間を通し療育活動を行い、充実した時間が過ごせるように、多職種と協働、連携し看護実践しています。

インターンシップ・病院見学

福島病院の看護や職場環境を見学していただき、パンフレットやホームページ閲覧だけではわからない病院内やスタッフの雰囲気や様子を肌で感じていただければと思います。皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

連絡先

国立病院機構 福島病院 副看護部長

Tel. 0248-75-2131 ✉ 119-fukubu@mail.hosp.go.jp

奨学金制度

国立病院機構福島病院の奨学金制度は、看護学校等（看護系の大学及び短期大学も含みます）に在籍する学生で、当該学校を卒業後、国立病院機構福島病院の看護師として就職を希望する学生に対して奨学金を貸与することにより、その修学を支援することを目的としています。

奨学金の額	年間 60万円
貸与期間	看護学校／ 3年間 看護大学等4年制の場合／ 4年間 1年間でも受けることができます。
返還について	看護学校卒業後、奨学金の貸与期間と同じ期間を 当院の看護師として勤務された場合→ 全額返還免除

連絡先

国立病院機構 福島病院 庶務班長

Tel. 0248-75-2131 ✉ 119-shomuhan@mail.hosp.go.jp



独立行政法人 国立病院機構 福島病院

National Hospital Organization Fukushima National Hospital

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13

TEL 0248-75-2131

FAX 0248-76-2382

<https://fukushima.hosp.go.jp/>

国立 福島病院

検索



- 東北自動車道利用の場合 東北自動車道須賀川インターより約10分
- タクシー利用の場合 JR東北新幹線郡山駅より30分、JR東北本線須賀川駅より約5分、福島空港より約15分
- バス利用の場合 須賀川駅から須賀川市内東循環バス（南上野団地方面）にて福島病院バス下車 約7分